

ガーデニングステージ

取付説明書－ステージ手すり－

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■梱包明細書

①地中梁セット

名 称	員 数	
	3セット入	1セット入
地中梁 L=3665	6	2
地中梁組付ネジ $\phi 4 \times 16$ ナベピアス	40	8

②支柱セット

名 称	員 数		
	主柱	端柱	角柱
支柱 L=1228.5	1	2	1
笠木固定金具2	1	2	—
笠木固定金具3	—	—	1
金具固定ネジ $\phi 4 \times 16$ ナベピアス	4	8	4
笠木固定ネジ $\phi 4.1 \times 32$ 丸木	4	8	4
木口カバー	—	2	—
カバー組付ネジ $\phi 4.1 \times 32$ サラ木	—	4	—
柱固定ネジ $\phi 4 \times 16$ ナベピアス	8	16	8
取付説明書	—	1	—

③笠木・下棧セット

名 称	員 数	
	1スパン	2スパン
ステージ笠木(1スパン) L=1500	1	—
ステージ笠木(2スパン) L=2700	—	1
下棧 L=1111	1	2
下棧組付部品	2	4
部品固定ネジ $\phi 4 \times 16$ ナベピアス	6	12
下棧組付ネジ $\phi 5 \times 30$ サラ3種	2	4

ラチスパネル

名 称	員 数
ラチスパネル(T-12)	1

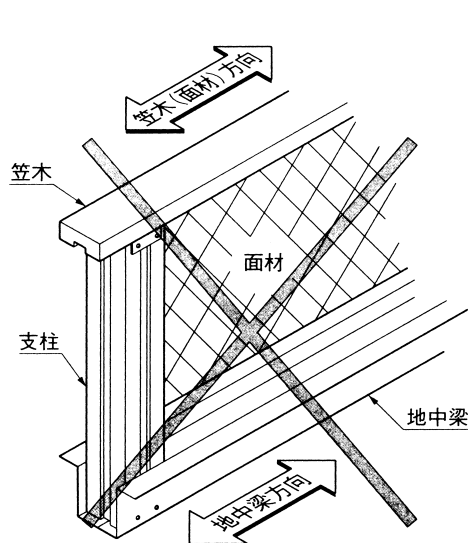
■施工前の重要事項（施工の前にご確認ください。）

<現場加工について>

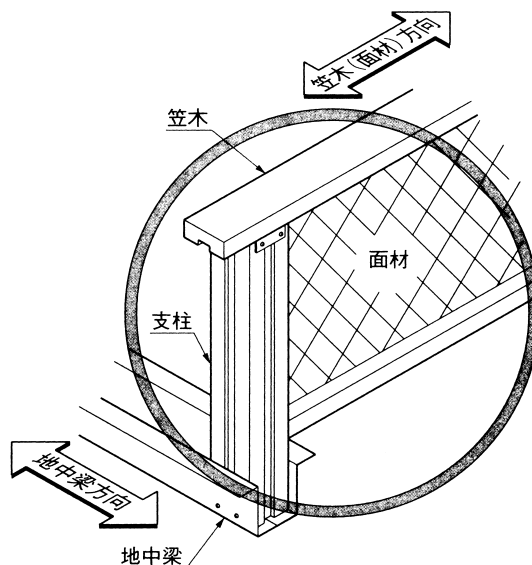
- 地中梁(アルミ形材)およびステージ手すりの面材(笠木)の切断加工があります。

<ステージ手すりと地中梁の関係について>

- ステージ手すりの支柱は、地中梁を使用して固定する構造になっています。
- 地中梁はステージ手すりの面材(笠木)方向に対し、直角の方向に配置します。
- 地中梁の方向が正しくないと十分な強度を得られない場合がありますので、必ずお守りください。



間違い例：ステージ手すりの面材(笠木)の方向と地中梁の方向が同じ場合

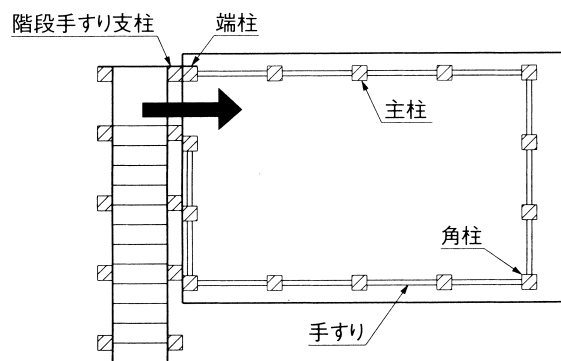
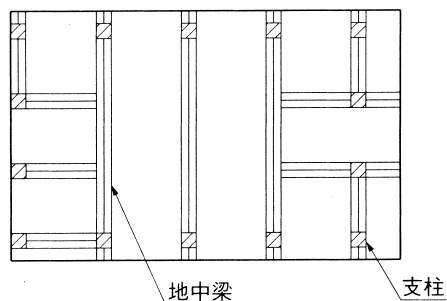


正しい例：ステージ手すりの面材(笠木)の方向と地中梁の方向が直角な場合

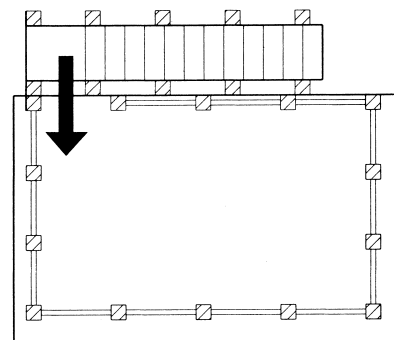
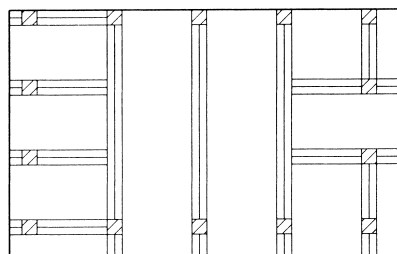
「施工前の重要事項」(施工の前にご確認ください。)

ステージ手すりの配列により地中梁の配置が異なりますので施工の前にご確認ください。
(階段の取付け位置が図の反対側になる場合は、地中梁の配置を反対にして施工してください。)

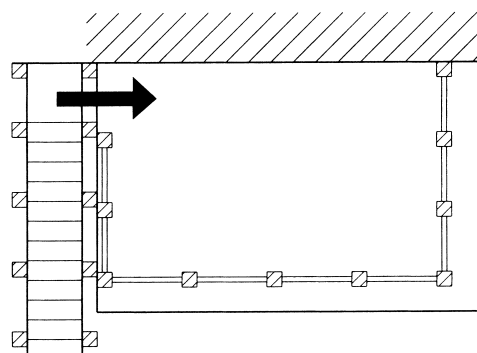
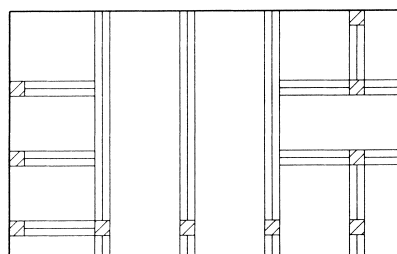
パターン1
(ガレージ)



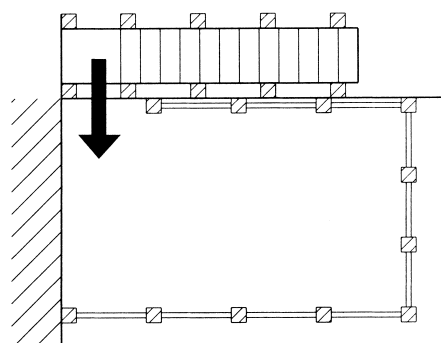
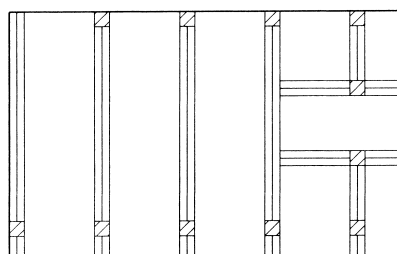
パターン2
(ガレージ)



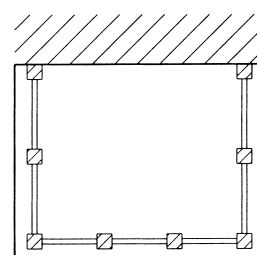
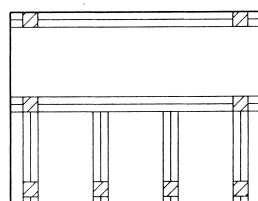
パターン3
(ガレージ)



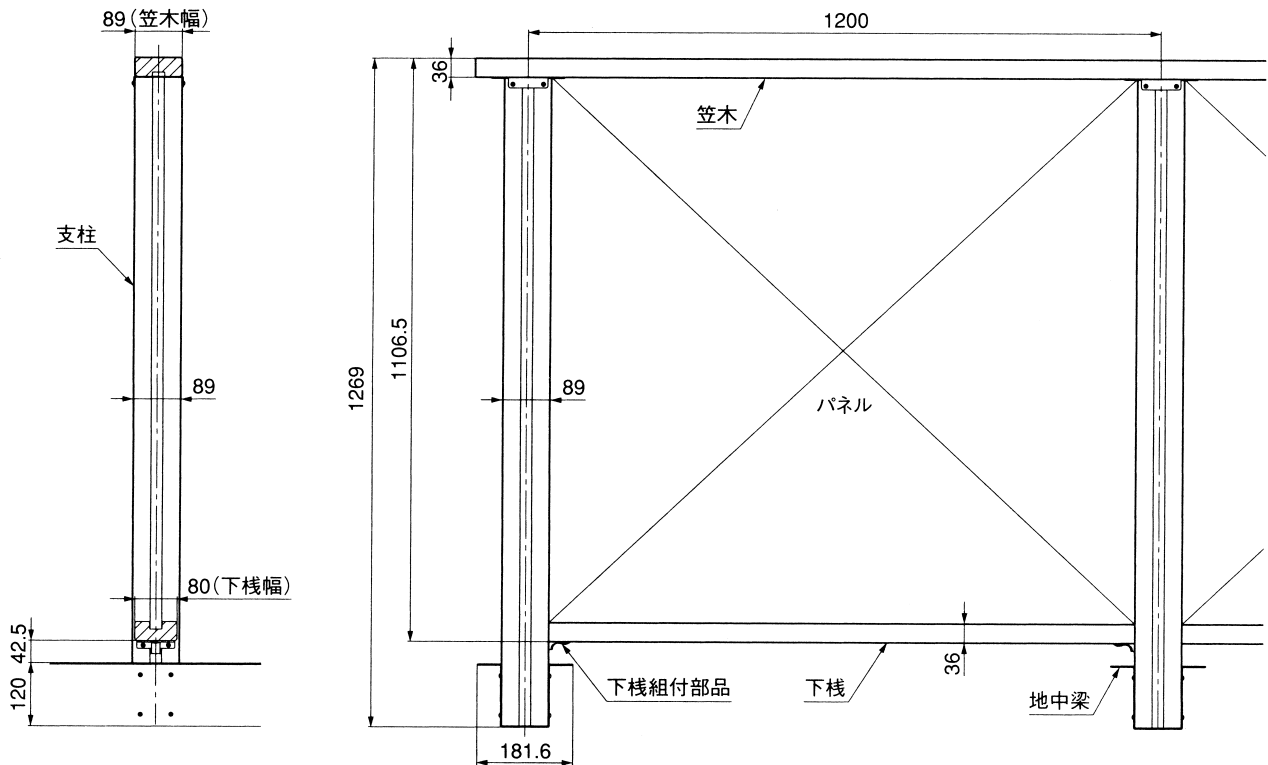
パターン4
(ガレージ)



パターン5
(バルコニー・デッキ)



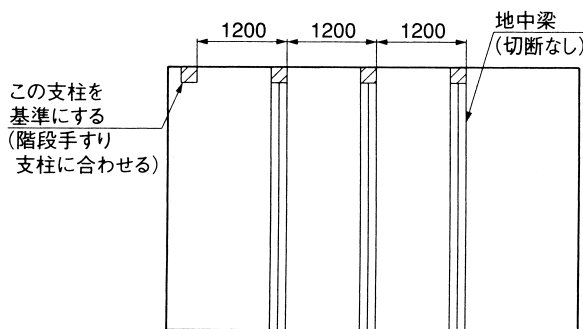
1. 基本寸法図および各部名称



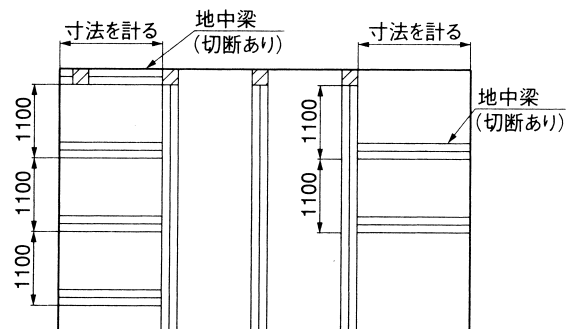
ステージ手すり基本寸法図

2. 地中梁の配置・支柱の組付け順番

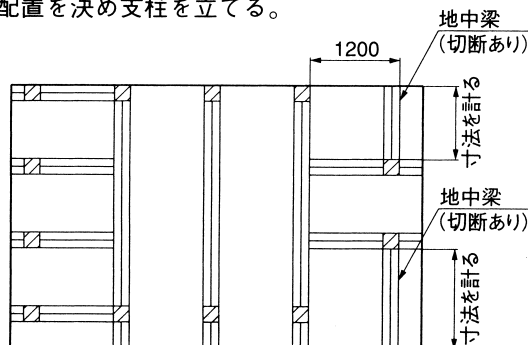
<前ページの「パターン2」を例にすると>



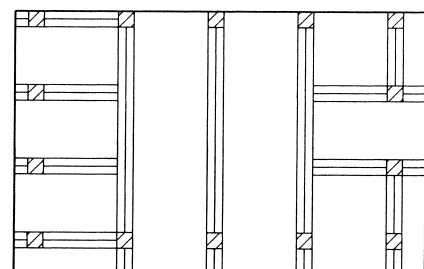
- ① 基準の支柱の位置から間口方向の地中梁の配置を決め支柱を立てる。



- ② 出幅方向の地中梁の切断寸法を計り支柱を立てる。

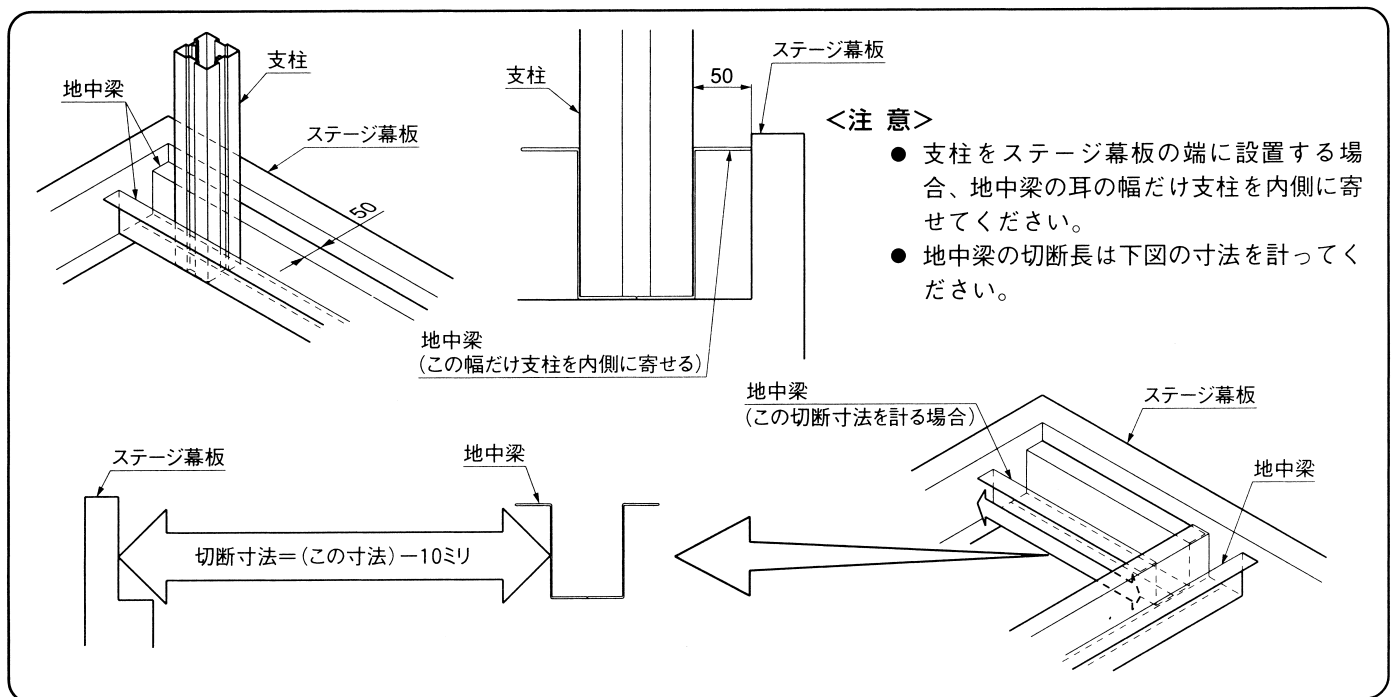


- ③ 間口方向の地中梁の切断寸法を計り支柱を立てる。

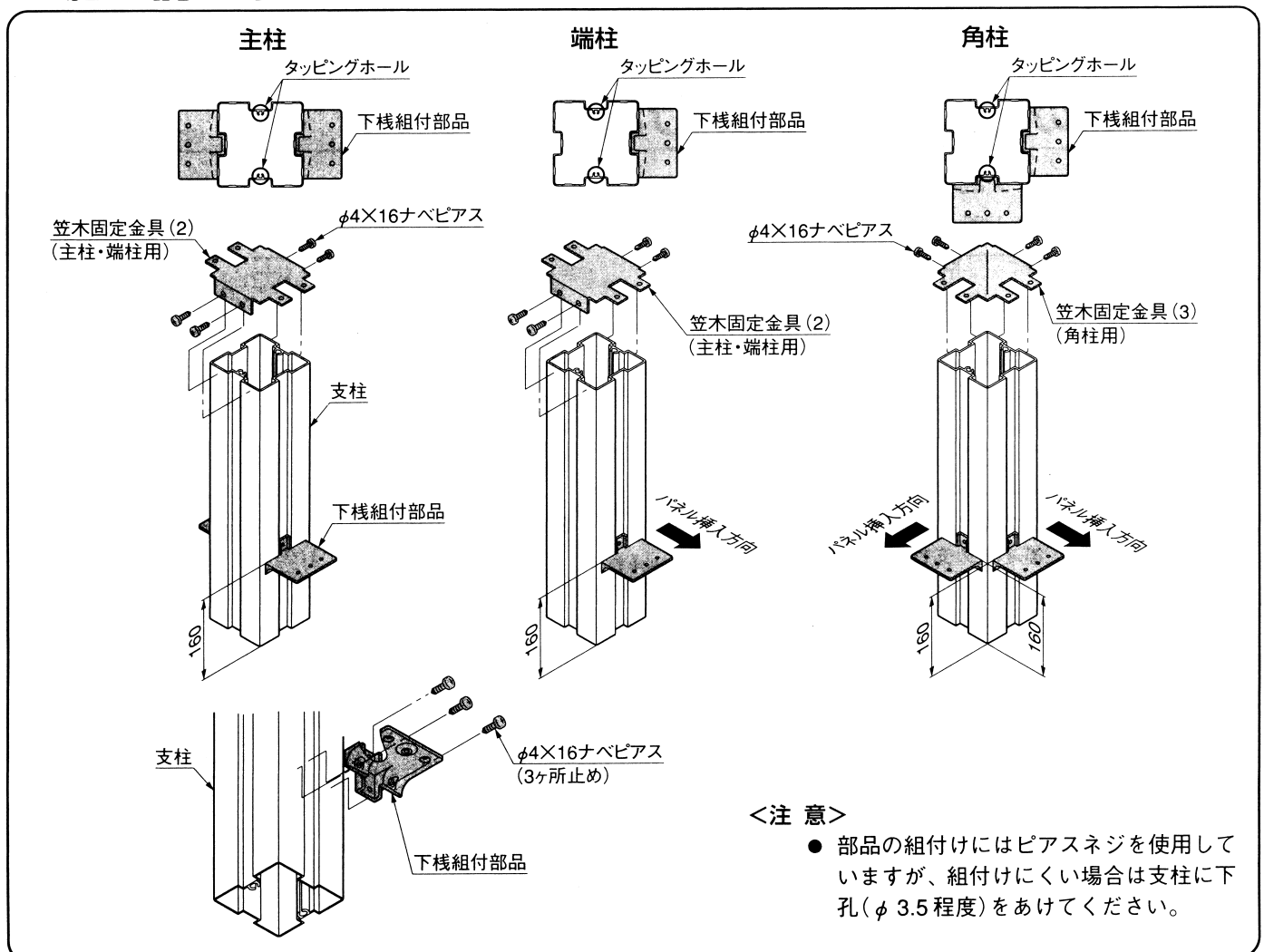


- ④ 残りの支柱を立てる。

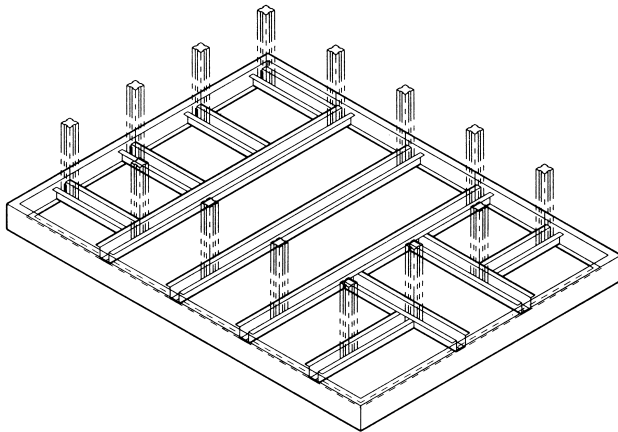
3. 地中梁の切断寸法について



4. 施工前の準備（各支柱に部品を組付ける）

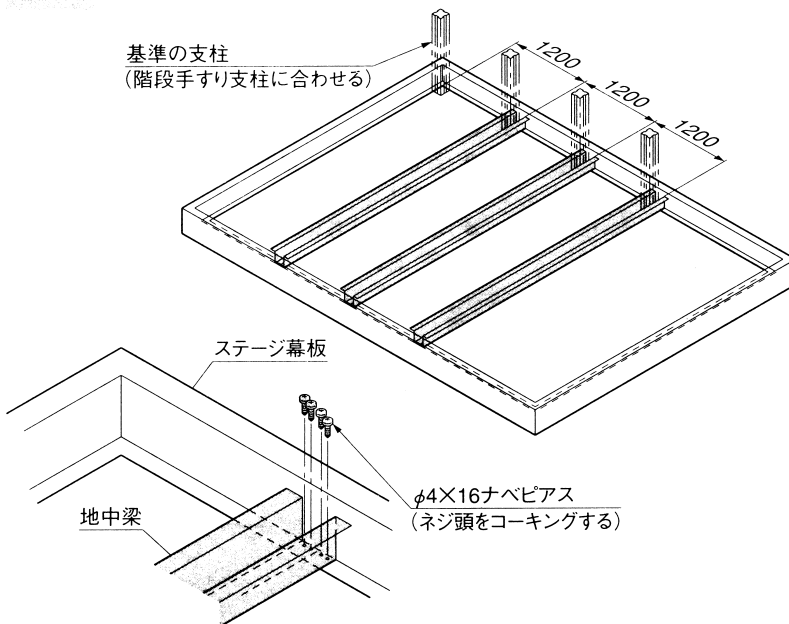


5. 地中梁と手すり支柱の組付け



※「2. 地中梁の配置・支柱の組付け順番」の場合

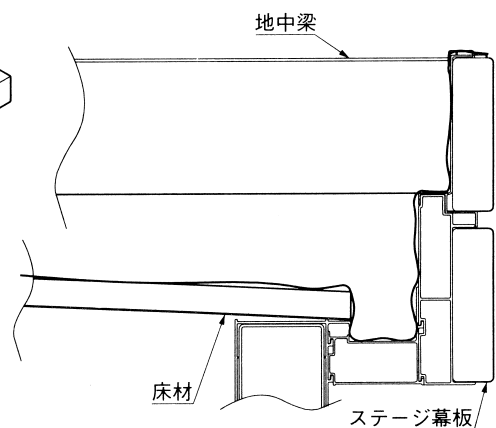
5-1 間口方向の地中梁の組付け



- ① 地中梁の端部の下孔を使い固定してください。

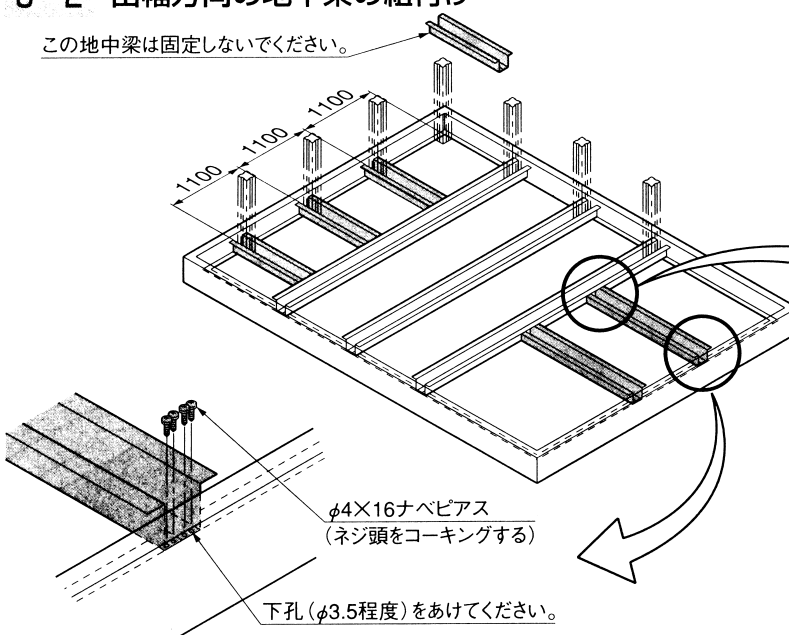
<注意>

- ネジが打ちにくい場合は、下孔 (φ3.5程度) をあけてください。



5-2 出幅方向の地中梁の組付け

この地中梁は固定しないでください。

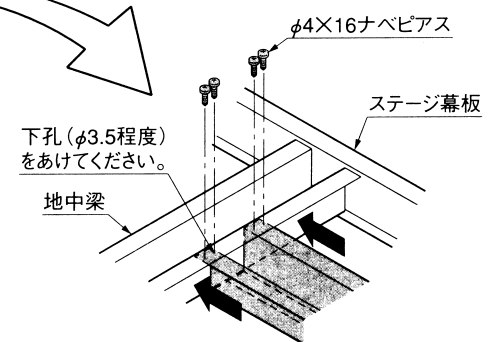


- ① 出幅方向の地中梁の切断寸法を計り、カットしてください。

- ② 地中梁を固定してください。

<注意>

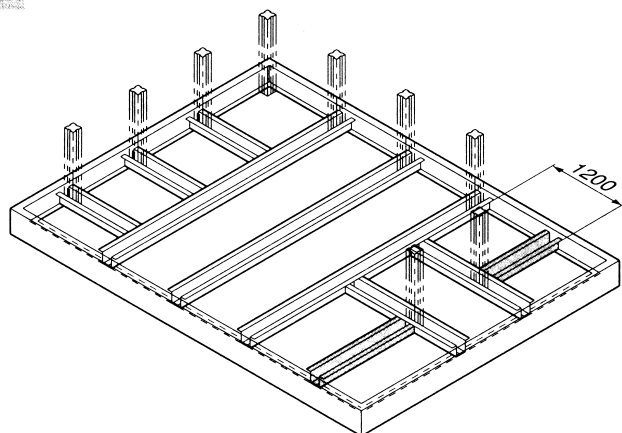
- ネジが打ちにくい場合は、下孔 (φ3.5程度) をあけてください。



※付き当てる地中梁が下にきます。

5. つづき

5-3 間口方向の地中梁の組付け

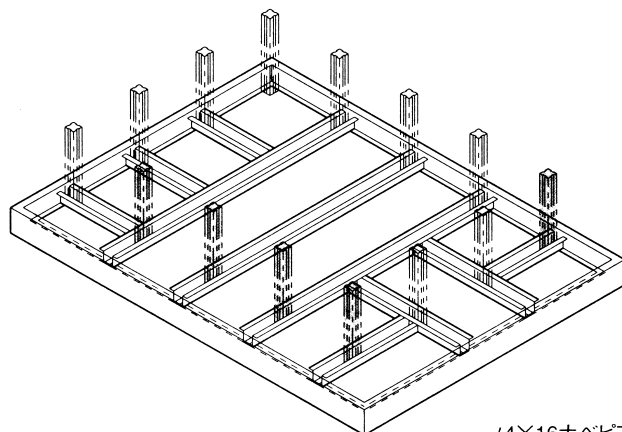


- ① 同様に間口方向の地中梁の切断寸法を計り、カットしてください。
- ② 地中梁を固定してください。

<注意>

- ネジが打ちにくい場合は、下孔 ($\phi 3.5$ 程度) をあけてください。

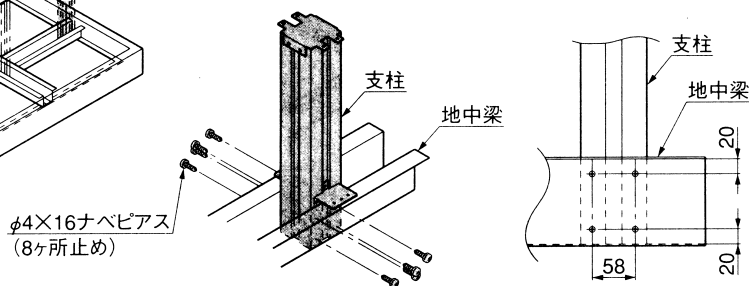
5-4 手すり支柱の組付け



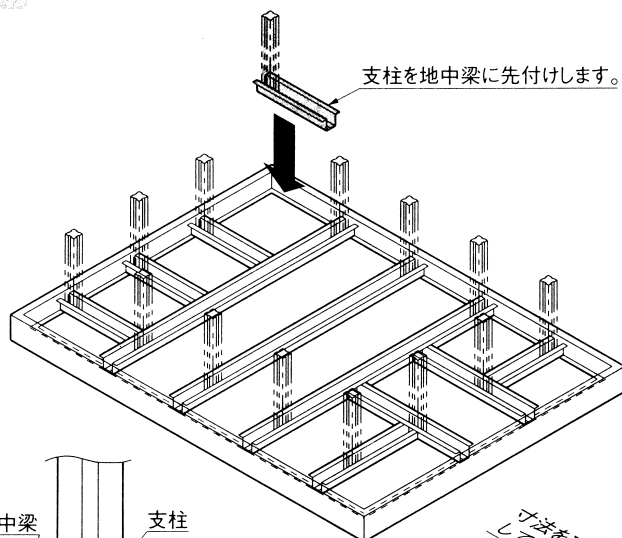
- ① 地中梁の中に手すり支柱を差込み固定してください。

<注意>

- 支柱の水平・垂直を確認して固定してください。
- ネジが打ちにくい場合は、下孔 ($\phi 3.5$ 程度) をあけてください。

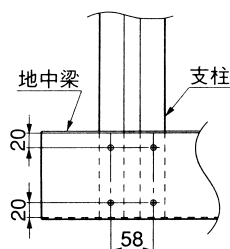


5-5 固定しなかった地中梁について



<注意>

- この場所は支柱を後から固定できないため、あらかじめ地中梁に組付けておく必要があります。



φ4×16ナベピース
(4ヶ所止め)

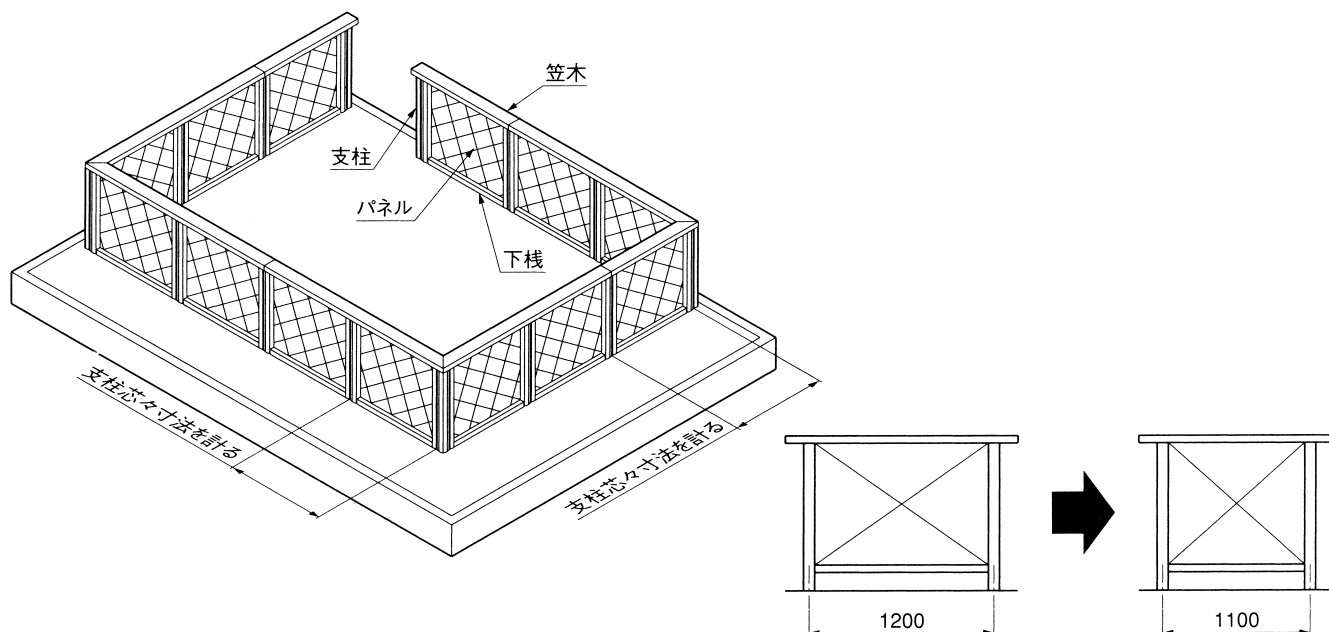
寸法を確認
してください。

地中梁

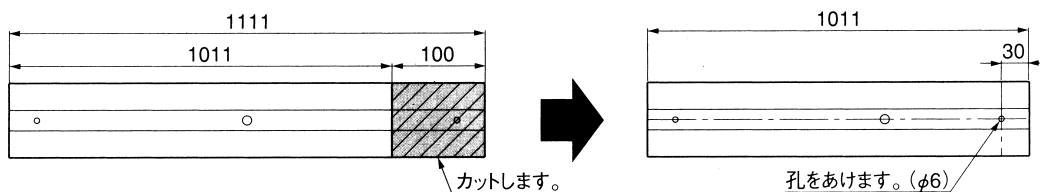
φ4×16ナベピース
(ネジ頭をコーキングする)

6. ステージ手すりパネル・下棧・笠木の組付け

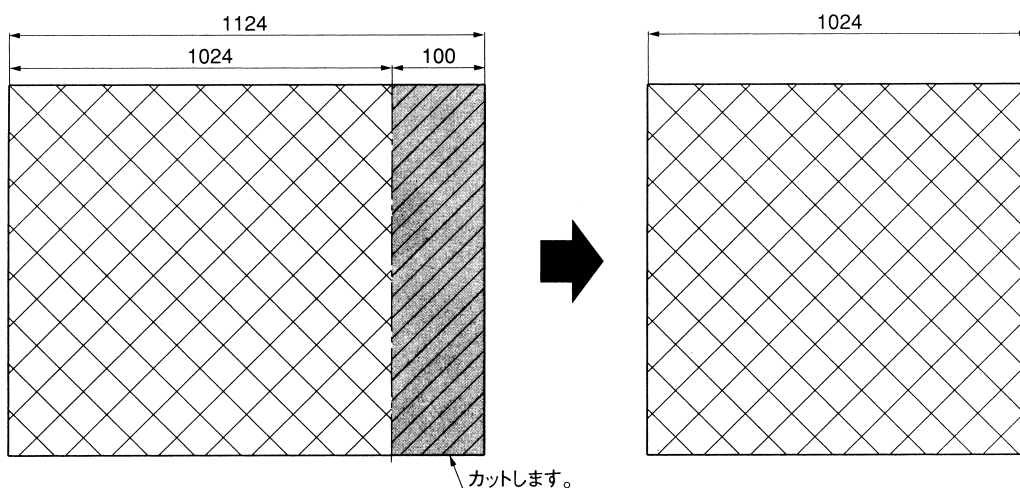
各々の支柱芯々寸法を計り、パネル・下棧を加工例を参照して加工してください。



加工例：手すり支柱ピッチを 100 ミリ縮める場合
(手すりの部材は支柱ピッチ：1200 で設定しています。)



下棧現場加工図



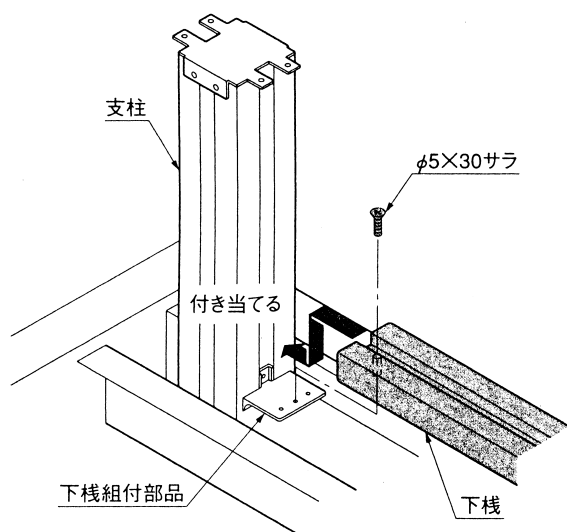
パネル現場加工図

- ❶ 下棧を 100 ミリカットしてください。
- ❷ カットした面から 30 ミリの所に $\phi 6$ の孔をあけてください。

<注 意>

- $\phi 6$ の孔は、下棧の中心にまっすぐにあけてください。
- ❸ パネルを 100 ミリカットしてください。

6. つづき



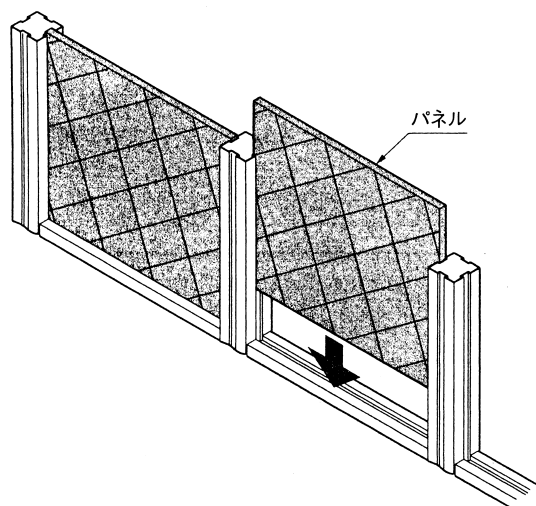
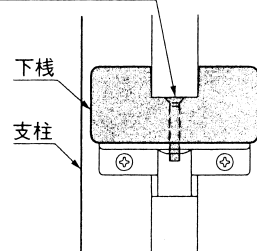
④ 下棧を柱に突き当てるように、下棧組付部品に乗せてください。

⑤ ネジで下棧を固定してください。

<注意>

- ネジ頭を下棧の溝面に合わせてください。
- ネジを締め込みすぎて下棧を突き抜かないように注意してください。

突き抜かないように注意してください



⑥ パネルを支柱と下棧の溝にはめ込んでください。

<注意>

- パネルが溝にはまっていることを確認してください。
- パネルの表裏に気を付けてください。

⑦ 笠木をカットし、組付けてください。

<注意>

- 笠木の溝にパネルがはまっていることを確認してください。

